

平成26年度 地域包括支援センター運営部会 議事録

- 日時 平成26年12月1日（月）午後1時30分～
- 場所 豊明市役所 東館3階 政策審議室
- 出席者 委員：太田 満、太田博文、貝沼その子、田口良子
欠席：平野 浩
- 傍聴者 なし

1. あいさつ

2 議題及び議事概要

議題1 豊明市地域包括支援センターの包括的支援事業を実施するために必要な基準を定める条例の制定について〔資料1〕
事務局より資料に沿って説明、異議なし。

議題2 平成26年度豊明市地域包括支援センター運営状況、平成27年度豊明市地域包括支援センター事業計画について〔資料2・3〕
事務局より資料に沿って説明。

委員：地域包括支援センターの周知についてさらなる強化が必要。地区組織、若い世代等今後地域を支える世代への周知が重要である。

委員：けやきいきいきプロジェクトの取組みについて知りたい。

（事務局）UR都市再生機構、藤田保健衛生大学、豊明団地自治会、北部地域包括支援センター、行政等による、豊明団地内での地域包括ケアシステム構築に向けたプロジェクト。取組み背景には、UR都市再生機構による地域医療福祉拠点（全国100団地選考予定）への選定、あいち地域包括ケアモデル事業への採択がある。今年度の具体的な取組みは団地内アンケートの実施と、その結果に基づく健康づくり教室の開催や見守り事業の実施など。また、健康等に関する相談先として「暮らしの保健室」を今年度中に整備し、住民の身近な相談窓口になるとともに、保健室を拠点とした活動展開を来年度に向け検討していく。

委員：豊明市の包括はよく機能している。今後、地域包括支援センター業務はますます多岐に渡り、さらに重要な位置付けとなる。人員体制強化や事業役割分担等、包括・行政でよく検討し取組みを推進していただきたい。

(事務局) 介護予防支援事業が増加する一方、地域ケア会議の充実をはじめとする包括的支援事業の強化が今後の地域づくりではますます重要になる。新しい総合事業にも対応できるような役割分担や体制構築に向け、委託料の再編も含め検討をすすめている。

議題3 第6期における地域包括支援センター設置に関する方針について
〔資料4〕

事務局より資料に沿って説明

委員：ブランチ設置の場所、内容等の構想等について。

(事務局) 両包括とも、担当する地区の第1号被保険者は7,000人を超える現状。地域の実情等を勘案し検討していく。

委員：けやきいきいきプロジェクトをはじめとし、藤田保健衛生大学との協力が活性化されていると感じる。

(事務局) 学生を抱える藤田保健衛生大学との連携により、これからの医療福祉を担う人材育成を含めた地域での取組みが可能となっている。

委員：地域も、行政も、住みやすい街づくりという目的は共通している。地域の力をいかに引き出すかが今後の街づくりには重要。地域の人材発掘や公共施設の利活用など取り組み課題は多い。現状は、行政の各担当課がバラバラに地域に様々な要望を出す一方、地域は担い手不足と要望のボリュームの多さに混乱している。行政内部での横の連携強化、地域の若い担い手の育成など、再構築が必要。